

ぼうえい

vol. 67 (2026.夏号)



小牧基地航空祭でのブルーインパルス
(写真：東海防衛支局)

目次

- 1 防衛問題セミナー開催(名古屋商工会議所 大ホール)
- 3 自衛隊の記念行事(第10師団音楽祭、小牧基地航空祭、春日井駐屯地)
- 4 東海防衛支局の政策広報／入鹿池上空を飛行するブルーインパルス
- 5 ブルーインパルスと東海防衛支局との関わり
- 6 「愛三岐のまちから」愛知県大口町
- 7 防衛省職員採用に関するご案内／新着任者紹介



防衛省と地域社会との
協力を象徴するエンブレム



瀧本東海防衛支局長挨拶

防衛省では、防衛政策の推進をはじめ、自衛隊の活動においては国民のご理解とご協力が不可欠と認識しており、東海防衛支局においても様々なツールで防衛政策等の情報発信に努めております。

この「防衛問題セミナー」もその一環として、全国で各地方防衛局が主催する同様のセミナーが開催されています。

2026. 3.11

防衛問題セミナー開催



160人の皆さんがご来場



名古屋商工会議所2F大ホール



セミナーの最後には、防衛産業関係者・自衛官を身内にお持ちの方、教職の方、防衛大学校入校予定者、自治体防災関係者などの様々な方から積極的なご質問をいただき本セミナーは盛会に幕を閉じました。

第1部 防衛生産・技術基盤の強化

我が国の防衛産業は、一般産業に比して限られた利益・売り上げ規模・予算、長期にわたる開発期間等による企業の事業撤退が生起する厳しい現状に対して、**防衛予算の増加、各種施策の開始、防衛装備移転三原則運用指針の改正**により防衛生産基盤を強化する必要性を説明しました。

その中で特に装備移転の推進の意義、具体的な実現ケースをあげその重要性を説きました。

また、ウクライナの教訓とサプライチェーンリスクの顕在化による我が国の防衛産業を取り巻く環境の変化と国際的な潮流(各国の防衛産業戦略・迅速な調達を実現する米国調達改革戦略・防衛と経済の好循環・防衛イノベーションの推進)を具体的な例をあげて解説しました。

そして防衛産業の望ましい姿と施策のアプローチの方向性として、**我が国の継戦能力を支える生産能力、維持整備能力を確保する新たな戦い方への対応(スタートアップ、アカデミア等との連携、デュアルユースの活用)、「防衛と経済の好循環」を実現するための取組**を最後に力強く述べました。

また、セミナー参加者からの率直な質問には自らの経験に基づき、具体的な実例をあげて、質問者に十分理解していただけるよう回答しました。

防衛産業が直面する様々な課題

サプライチェーンリスクの主な類型

1 事業撤退リスク	2 外国規制リスク	3 機密部品リスク	4 機密工務リスク	5 外国資金リスク
サプライヤーの撤退や倒産により、当該サプライヤーが生産する部品や製品の供給が途絶するリスク	外国の国内法令の輸出規制等により、当該国で生産される部品や製品の供給が途絶するリスク	高度な技術やノウハウが漏れ出た部品等により、他国産品の機能・性能に支障を及ぼす、又は機密が窃取される等のリスク	製造設備の脆弱性や、機密ある者への業務委託により、生産の停止や機密の窃取等が生じるリスク	投資をした外国からの影響力の行使により、部品・役務の供給等が途絶するリスク

相次ぐ事業撤退

小松製作所 (2019年)	自衛隊車両の新規開発事業
ダイセル (2020年)	パイロット緊急脱出装置等
住友重機械工業 (2021年)	自衛隊向け新機軸事業
三井E&S造船 (2021年)	艦船・官公庁船事業 ※ 三菱重工業が事業承継
横河電機 (2021年)	航空機用計器事業 ※ 沖電気工業が事業承継
KVB (2022年)	航空機事業 (プレーキ等の油圧機器等)

サイバーセキュリティリスク

技術の陳腐化の速さ

防衛装備庁装備政策部
装備政策課 射場課長

第2部 防衛省と女性・平和・安全保障(WPS) ～国内外における取組と進展～

能登半島地震におけるジェンダー視点の反映

被災者(高齢者、女性、児童等)の特性に配慮した活動

女性を含む編成による多様性を持った活動



陸上幕僚監部防衛部防衛課
WPS推進室長 與藤1佐

Women, Peace and Security(女性・平和・安全保障)とは…

災害等発生時により脆弱な立場に置かれる女性、女児等は特に保護すべき対象であると認識して保護・救済に取り組みつつ、女性が指導的及び主体的に、紛争解決や災害対応のあらゆる段階に参加することで、より持続的な平和に資することができるという考え方。

WPS推進への取り組みにより、国民の保護、防衛力の抜本的強化、国際平和と安定への貢献につながることを説明しました。そして具体的な取り組みとして、国内における防衛省の意識改革、WPS推進体制の整備、諸外国・機関等の連携、自衛隊活動へのジェンダー視点の反映をあげ今後の課題と進展を語りました。

特に日本人(自衛官)の優しさ・直面する現場の工夫に頼るのではなく、まずは組織的に成果を取りまとめ、しっかりと教育して、現場に反映することがとても重要であると力強く話しました。

また、セミナー参加者からのするどい質問には自らの自衛隊での活動・海外での体験に基づき、わかりやすい言葉でやさしく丁寧に答える姿には人柄があらわれていました。

自衛隊の記念行事（第10師団音楽まつり、 航空自衛隊小牧基地、陸上自衛隊春日井駐屯地） 東海防衛支局の政策広報

令和8年2月28日「陸上自衛隊第10師団第24回師団音楽まつり」（愛知県名古屋市）が、3月1日に「令和7年度航空自衛隊小牧基地航空祭（オープンベース2026）」（愛知県小牧市）、同月21日に「陸上自衛隊春日井駐屯地創立59周年記念行事」（愛知県春日井市）が開催されました。航空祭や記念行事では、航空機の飛行、訓練展示、装備品展示など、音楽まつりでは高校生との共演などが行われ多くの方々が来場されました。

陸上自衛隊 第10師団 第24回師団音楽まつり



【第10師団音楽隊による華麗な演奏や歌唱】



（写真提供：第10師団）

（名古屋市立北高等学校 音楽部の合唱）



（10施桃陣太鼓）



（豊田大谷高校ダンス部によるダンス）

令和7年度 航空自衛隊 小牧基地航空祭（オープンベース2026）



【多くの機体が並ぶ滑走路】



（高機動消防車）



（写真提供：小牧基地）

（ブルーインパルス）

（警備犬訓練）

（空中給油）

（KC-767）

陸上自衛隊 春日井駐屯地 創立59周年記念行事



（写真提供：春日井駐屯地）

【災害派遣を模した訓練】



爽やかな早春の3月1日、小牧基地航空祭（オープンベース）が開催され、航空機・訓練展示をはじめ、K/C-130H、KC-767、UH-60J、F-15などによる展示飛行、特に宮城県松島基地より駆け付けたブルーインパルスのプログラムはご来場された66,000名の皆さまを大いに盛りあげました。

東海防衛支局ブースでは令和7年版防衛白書の特色をアピールしたほか、3月11日に名古屋市内で実施する防衛問題セミナーについて宣伝し、多くのみなさまに告知動画を視聴していただきました。

犬山市内 入鹿池上空を飛行するブルーインパルス



ブルーの飛来に沸く入鹿池

飛行展示の始めと終わりに入鹿池上空に飛来し、その勇姿を一目見ようと入鹿池に集まった親子連れや入鹿池でワカサギ釣りをしていた方たちを大いに沸かせていました。



多くの釣り客で賑わう入鹿池

本号で令和8年3月1日に航空自衛隊小牧基地（愛知県小牧市）で開催された「航空祭」を紹介しており、これに関連して、展示飛行した航空機のうち東海地区で修理等が行われ、東海防衛支局岐阜防衛事務所において納入に関する監督・検査等を実施している「ブルーインパルス」について紹介いたします。

（写真出典：航空自衛隊HPより）

ブルーインパルスとは

正式名称は、航空自衛隊松島基地（宮城県東松島市）の第4航空団に所属する「第11飛行隊」です。

青と白にカラーリングされた6機の機体により、航空自衛隊の存在を多くの人々に知ってもらうために、航空自衛隊の航空祭や国民的な大きな行事などで、華麗なアクロバット飛行を披露する専門のチームです。

使用機種について

3代目ブルーインパルスとして採用された機種が「T-4」です。T-4は、岐阜県各務原市に所在する川崎重工業（株）岐阜工場において純国産の練習機として製造され、現在はブルーインパルス仕様機を含む機体の定期修理等がされています。

信頼性及び整備性に優れた航空機であり、航空自衛隊において、プロペラ機による初等訓練を終えたパイロットが続いて訓練するための中等練習機として用いられています。



【ブルーインパルス】



【T-4中等練習機】

アクロバット飛行の具体例

ブルーインパルスは、展示飛行において大空で展開する一糸乱れぬフォーメーションやダイナミックな飛行演技など、次から次へと数々のアクロバット飛行を披露しています。その数あるアクロバット飛行の中から3種類のパフォーマンスを紹介いたします。

【ワイド・トゥー・デルタ・ループ】



5機のブルーインパルスがループを描きながら、広めの隊形を密集隊形へ徐々に変化させていきます。

【スタークロス】



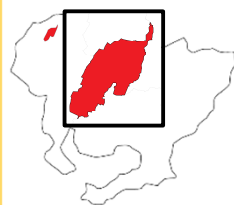
5機のブルーインパルスが上昇し、5方向に広がり「星」を描きます。

【タッククロス】



2機が背面飛行で進入し、近距離で交差するスリル感のあるアクロバット飛行です。

東海防衛支局は東海3県（愛知県、岐阜県、三重県）を管轄しており、今回紹介したブルーインパルスにも使用されているT-4（機体）は岐阜県管轄の岐阜防衛事務所において、要求される品質の確保及び安全管理に留意しつつ、納入に関する監督・検査等を実施しております。



大口町の紹介



すずき まさひろ

鈴木 雅博 大口町長

大口町は、愛知県の北西部に位置し、犬山扇状地の南東部に位置する「木の葉」の形をしたまちです。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積は13.61平方キロメートル、海拔40メートルから海拔15メートルのゆるい傾斜になっており、地質は木曽川からの土砂の堆積による沖積層をなし、耕作に適した地域となっています。大口町の中心を北東から南西に向かって五条川が流れ、川の堤には、「日本さくら名所100選の地」に選ばれている五条川の桜並木や、豊かな田園風景が広がる自然豊かなまちです。桜の開花時期を迎えると五条川を遊覧船が運航し、より近くで桜と五条川が織りなす景観を楽しむことができます。



【五条川の桜と遊覧船】



【おおぐち光燈路のようす】

さて、当町では、地方分権時代を迎えた当初から、「自立と共助のまちづくり」の理念を掲げ、このまちに関わる人々が主体的に考え取り組む施策に力を入れてきました。現在、大変多くのNPO団体や地域自治組織の活動が広がり、安全安心のまちづくりや地域包括ケアシステムの取り組みなどで、それぞれの力が発揮されています。

一人ひとりの「自立の精神」を大切にしながら、互いに思いやりのあるやさしい気持ちで見守り支え合う「共助の精神」を持ち、誰もが安心して幸せに暮らせる地域社会を目指しています。

防衛省・自衛隊との関わり

当町の北部や南部の空に目を向けると、岐阜基地や小牧基地より飛び立った自衛隊航空機が飛行する姿を見ることができます。

毎年秋に開催しているふれあいまつりでは、車両展示やフライトシミュレーター、ブロック作品展示などを通して、町民の方たちとの交流をはかっていただいています。また、町内で入隊者がいらっしゃる場合は激励会を開催しています。

今後もさまざまな機会を通して、情報をご提供いただき、交流を深め、自衛隊の活動について多くの皆様から理解が深められることを期待しています。



【ふれあいまつりでの自衛隊車両展示】

採用関連のご案内

東海防衛支局では、国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験・高卒程度試験・社会人試験（係員級））合格者から防衛省職員を採用しています。

令和9年度採用に関する各種イベントを計画しますので、防衛省で働くことに興味のある方は、是非ご参加ください。

各種採用イベントについては、ホームページ等でお知らせします。

参加には事前申込みが必要です。詳しくは東海防衛支局または防衛省のホームページをご確認ください。



大卒程度採用イベント予定

7月（官庁訪問禁止期間を除く）：官庁訪問

8月中旬（国家公務員試験最終合格発表後）：採用面接

大卒程度・高卒程度採用イベント予定

9月 業務説明会（大卒程度、高卒程度）

東海防衛支局ホームページ「採用情報」

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/recruit/>

◆お問い合わせ先◆

東海防衛支局 総務課

052-952-8221



新着任者紹介



周辺環境整備課長
福富 昌一
(令和8年4月1日付)

周辺環境整備課長に着任しました福富です。

防衛施設の安定的な運用と、関係自治体の皆様の信頼が得られ、更により良い関係が得られるよう全力で取り組んでまいります。

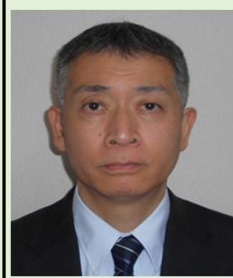
どうぞよろしくお願いいたします。



施設補償管理課長
喜久川 裕晃
(令和8年4月1日付)

施設補償管理課長に着任した喜久川です。東海支局での勤務は、2回目となります。

前回同様、地域の皆様との信頼関係を大切にし、さらに発展するように努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



岐阜防衛事務所
次長
青木 敬太
(令和8年4月1日付)

岐阜防衛事務所次長に着任しました青木です。

初心を忘れずに、事務所における防衛装備品の納入に係る監督・検査等の業務に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

【発行】東海防衛支局広報誌編集委員会

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館（電話）052-952-8212

2026年(令和8年)夏号（通巻第67号） <https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>

